1

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	美しい山形・最上川フォーラム
代　表　者	会長　柴田　洋雄
所　在　地	山形県山形市緑町 1-9-30　緑町会館
事業内容	「身近な川や水辺の健康診断」 1．日的 ・「身近な川や水路の水質が知りたい」という県民の声に応えるため、誰もが参加しやすく、わかりやすい水質調査を平成14年度から毎年実施。水のにごりや富栄養化（窒素・リン）の問題への理解と関心を高める。 ・簡単な水質調査キットを使って調べる活動を通じて、河川への関心を深め、生活との関わりを理解し、水環境の大切さや改善したい課題を発見することで、水質や水の循環、動植物の生息環境の保全や改善のための取組みにつなげていく。 ・調査結果はホームページで公表し、情報の共有や地域ごとの課題解決の材料として活用することを期待する。 2．内容 （１）参加グループ数：100グループ、調査地点250地点を想定 （２）調査の実施期間：6月2日（土）～6月10日（日） ※学校の授業・部活動等で実施する場合、6月2日（土）～8月24日（金） 参加者は、期間内で都合の良い目時に希望の場所にて調査活動を行う。 （３）調査項目 ①パックテスト6項目（パックテストや比色カード、調査マニュアル等は当フォーラムが提供。） （pH、COD、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リン） ②川の概要（水温、川幅、水深等） ③1メートル透視度計による透視度測定（貸し出しを行う） ④水辺環境の目視調査（自然植生、泡立ち、散乱ごみ等） ⑤外来生物・植物の目視確認（発見したか否か） ⑥水生生物調査（主催：山形県環境科学研究センター） ※調査を希望する団体のみ当フォーラムを通して申込み可能とする。 ⑦公定法調査実施機関に対して、大腸菌群数調査も合わせて依頼 （４）調査結果 ・実施グループより6月15日（※学校関係は、8月31日）まで報告書を提出してもらい、データを集計する。 ・調査結果を総合的に分かりやすく表すために、各調査項目を得点化し、清流指標「水辺診断書」（五角形によるレーダーチャート）を作成し評価。 ・ホームページにて報告データを公表すると共に、年度末に河川地図上、流域ごとに水辺診断書の結果を掲載する。	（５）その他 ・パックテストによる調査にあわせて、一般財団法人理化学分析センター、株式会社理研分析センター、一般社団法人山形県水質保全協会ほか環境分析関係事業所の協力を得て、同一地点において公定法調査も実施し、パックテストの精度の参考としている。 ・上記環境分析関係事業所からは、初めて参加するグループ等へ現地調査サポートの協力をうけ、専門的な分野から水環境に対する啓蒙活動も行う。 ・小中学生の実施グループには、総合学習のも時間などに水辺の環境を考える参考にしていただくため、報告を受けてから速やかに「水辺診断書」を作成し提供する。
事業実施期間	平成 30.4 ～ 31.3
事業実施場所	山形県内全域
事　業　総　額	６１０，０００円
助　成　金　額	２００，０００円

2

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	一般社団法人 Water-n（ウォータン）	NPO 法人富士市のごみを考える会
代　表　者	代表　奥田　早希子	理事長　小川　浩
所　在　地	東京都港区南青山２－２－１５　ウィン青山９４２	静岡県富士市大淵９９－２７　熊谷宅
事業内容	「水を還すヒト・コト・モノマガジン『Water-n』発行事業」 1．目的 生活において使った水がどのように処理されるのか、購入するモノの製造過程でどれくらい水が使われ、どのように処理されるのかなど、失われつつある「水を還す」意識を取り戻し、一人一人の水にいい行動を誘発するとともに、生活排水処理の分野で働きたい学生を増やすことを目指します。 ２．内容 （１）年２回発行（平成３０年７月および平成３１年１月） （２）大学・高専の土木・環境系研究室等に各号約１，４００箇所、約７，４００部無料頒布	「水環境保全に関する講演、意見交換会の開催」 事業内容 当法人は、富士市のごみの減量化及びリサイクルを推進するために設立した法入であるが、当市は富士山からの湧水が豊富な地域であり、水環境保全にも寄与していくことが必要であり、特に公共下水道が未整備の地区において、合併処理浄化槽を普及していくこともその目的を果たすことと考えました。そのため、昨年度、富士市大淵地区において浄化槽勉強会を開催したところ地元住民から多くの参加や意見があり、本年度も開催の希望が寄せられています。そこで、、富士市（旧富士川町を含む）内で地域住民を対象にモデル浄化槽の展示や浄化槽を活用した水環境保全に関する講演、さらにはごみの減量化を含めた意見交換会を開催するものです。 （別紙１参照）
事業実施期間	平成 30.7 ～ 31.1	平成 30.8 ～ 30.10
事業実施場所	全国	富士市大渕地区・青葉台地区ほか数カ所
事　業　総　額	８９６，４００円	４００，０００円
助　成　金　額	２００，０００円	２００，０００円

3　　（一社）　全国浄化槽団体連合会　「平成 30 年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	快適な生活環境を守る会
代　表　者	渡邉　政男
所　在　地	静岡県藤枝市稲川 440-3
事業内容	小学生を対象とした「水環境教育」、「浄化槽普及啓発」事業の実施 １．目的 　小学校に出向き、４年生児童を対象とした水についての環境教育を計画しました。一般家庭で使われた水はどのようにして川に流され、自然へと返っていくかという水環境についての知識を習得し、水の大切さを学んでもらうことを目的とします。 ２．内容 （１）水の学習コーナー （２）浄化槽のミニチュアモデルコーナー （３）小型合併処理浄化槽の実物大カットモデルコーナー （４）浄化槽ビデオコーナー （５）浄化槽大カルタ大会
事業実施期間	30.6 ～ 30.10（8 月は除く）
事業実施場所	【牧之原市実施予定校】７校 ①学校組合立牧之原小学校　児童２８名　②牧之原市立川崎小学校　児童７２名　③牧之原市立細江小学校　児童７３名　④牧之原市立坂部小学校　児童１７名　⑤牧之原市立相良小学校　児童９０名　⑥牧之原市立菅山小学校　児童３０名　⑦牧之原市立地頭方小学校　児童３５名 【島田市実施予定校】７校 ①島田市立金谷小学校　児童８９名　②島田市立五和小学校　児童６５名　③島田市立島田第二小学校　児童６０名　④島田市立島田第四小学校　児童７４名　⑤島田市立島田第五小学校　児童３４名　⑥島田市立神座小学校　児童３３名　⑦島田市立島田第一小学校　児童８１名
事　業　総　額	５０７，１７２円
助　成　金　額	２００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	上林川を美しくする会	全国水源の里連絡協議会
代　表　者	会長　熊内　久志	会長・京都府綾部市長　山崎　善也
所　在　地	京都府綾部市野田町須知山 110-10	京都府綾部市若竹町８番地の１　綾部市役所
事業内容	「上林川を調べて・知って、守り育てる活動事業」 1. 目的 京都府内有数の清流として知られる上林川は、近年生活排水の流入などにより、水質の悪化が懸念されている。「上林川を美しくする会」は、上林川流域の住民、市民、行政の協働により設立され、上林川に清流をよみがえらせ、次世代に引き継ぐことを目的とし、継続して活動を実施している。 2. 内容 （１）上林川の水質等の調査分析、水生生物の調査を実施し、上林川の現在の状態を把握する。 （２）一般市民の協力、参加も得て、上林川流域のヨシ刈り作業や清掃活動を実施することにより、上林川の景観の美化を図る。 （３）会報等で積極的に上林川の情報を発信するとともに、水環境保全の啓発を行う。 （別紙２参照）	情報誌「水の源」発行事業 1. 目的 「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念のもと、水源の里地域における振興と水環境等の保全に取組む全国の自治体が連携し、水源の里振興の理念を国民運動として広げていく。 2. 内容 森林や水環境保全に大きな役割を果たす水源の里地域の情報発信、交流、連携を図るため、情報誌を発行する。 ・名　称　「水の源」（みずのみなもと） ・目　的　①水源の里の理念を全国に展開していく。 ②集落の情報を全国に発信していく。 ③下流（都市部）の皆さんの理解と協力を求めるとともに、交流を推進する。 ・発　刊　年４回 ・部　数　3,000 部／回
事業実施期間	平成 30.5 ～ 31.3.31	平成 30.7 ～ 31.3
事業実施場所	綾部市市内	全国
事　業　総　額	７４０，９２０円	１，１３３，１６０円
助　成　金　額	２００，０００円	２００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	学校法人　大阪学園　大阪高等学校　科学探究部
代　表　者	顧問　本田　龍輝
所　在　地	大阪府大阪市東淀川区相川２－１８－５１
事業内容	「環境 DNA を用いた箕面市内河川の魚類調査、並びに、淀川水系河川の生物相との比較事業」 1.目的 　環境問題は、21 世紀に解決すべき地球規模の危機的課題です。そして、次世代の人材育成においても環境問題に関する教育はとても重要な項目の１つであると考えられています。しかし、昨今の子どもたちを取り巻く受験環境では、進学のための勉強に偏り、自然と触れ合う体験が少ないことや、理科および環境教育で重要な実験授業やフィールドワーク活動が困難です。 　本研究の経緯等は、別紙３『本校科学探究部と学校法人京都産業大学との共同研究(環境 DNA)に関する今後の展望について』に記載している通りです。また、本研究を進めるだけでなく、環境 DNA の採水・採取の際は、その周辺のゴミ収集による清掃活動にも積極的に取り組むといった総合的な環境教育及び環境保全について理解できるような実践活動も行っています。 　このような背景から、今年度は大阪府箕面市立萱野中央人権文化センターらいとぴあ 21 で、本校科学探究部による環境 DNA を用いた体験型実験を市民向けに実施、並びに、環境保全活動にかかる取り組み内容の発表を実施します。 　その際、①環境 DNA を用いた箕面市内河川の魚類調査、並びに、淀川水系河川の生物相との比較。②昨年度からの淀川水系河川の網羅的調査研究で検出された魚種１種を選定し、箕面市内河川、並びに、淀州水系河川の広域的種特異的調査研究を行い、生息相マップの作成。以上の２つの調査研究を目的とします。得られた結果は、環境教育の一貫として地域住民の方々に分かりやすく発信し、継続的な環境保金啓発活動に取り掛かりたいと考えています。 2.内容 ①網羅的調査研究 〈DNA 採取及び抽出〉 　本校科学探究部部員を中心に体験型実験参加者と共に、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センターの助言を頂きながら、箕面市内河川の１箇所を定点し、そこの四季における水を汲み取ります。 その水を吸引ろ過しフィルター上に環境 DNA を採取した後、採取されたものから環境 DNA を抽出します。 〈DNA 分析〉 　本校科学探究部部員は、環境 DNA を抽出したものから次世代シーケンサー等を用いて環境 DNA の分析を行います。 〈DNA 解析〉 　本校科学探究部部員を中心に体験型実験参加者と共に、DNA 分析から得られた DNA 情報をもとに、DDBJ や BOLD 等の DNA データベースと照合し、生物種の同定及び生息数の分析を行います。 ②広域的種特異的調査研究 　環境 DNA 解析から得られた魚種(絶滅危惧種)を１種選定し、その絶滅危惧種が箕面市内河川、並びに、淀川水系河川のどの範囲まで生息するかを広域的に調査します。その際、本校独自で行えるように実験設備を整えます。 〈成果の活用法〉 １．見つかった絶滅危惧種や希少な生物種の DNA 情報から、生息場所や個体数などを特定し、河川の環境保全計画を本校科学探究部部員が立案することで、生徒が環境問題の実体験による理解と科学への関心の深まりが見込まれます。さらに、継続的な活動にすることで地域の環境保全に貢献できることが大いに期待されます。 ２．体験型実験を通じて、これまで接点のなかった地域外の子どもや大人の方々に、科学や環境問題等への興味関心を引きつけることで、身近にある河川環境を少しでも保全してもらえるように取り組みながら、他市への進出も積極的に参画します。
事業実施期間	平成 30.7 ～ 31.3.31
事業実施場所	大阪高校、箕面市、淀川水系河川
事　業　総　額	２０６，４６０円
助　成　金　額	１００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（公社）北海道浄化槽協会	（公社）福島県浄化槽協会　須賀川支部
代　表　者	会長　丹羽　道正	支部長　小野寺　仁
所　在　地	北海道札幌市豊平区平岸五条 7-7-10	福島県須賀川市八幡山２４８－４
事業内容	「浄化槽啓発用ポスター及び標語の募集並びにポスター制作」 事業内容 道内在住の小・中学生を対象とした浄化槽に関係する啓発用ポスターを募集するとともに、優秀作品を環境パネル展等で公表・掲示する。また、併せて標語についても、年齢制限をせずに募集する。 入選したポスターの１作品及び標語の１作品については、啓発用のポスター及びクリアファイルとして作成し、広く道内の自治体や会員企業等を通して浄化槽の普及啓発を行う。 なお、ポスター等募集にあたっては、浄化槽の説明資料を添付し、多くの道民に浄化槽を知る機会と参加を誘導する。 （別紙４参照）	「須賀川市浄化槽設置補助並びに維持管理補助金周知パンフレットの作成」 事業内容 本年創設された、須賀川市浄化槽設置補助並びに維持管理補助金を広く市民に周知し、公共下水道計画区域外の、汲み取りや、単独処理浄化槽を小型合併処理浄化槽に効率的かつ速やかに転換し、須賀川市の水環境保全に寄与し、浄化槽の普及啓蒙並びに地域の健全な水環境作りに努めることを目的とする為、パンフレット(別紙５参照)を作成し市民に配布すると共に主要施設に設置し配布するものである。
事業実施期間	平成 30.4.1 ～ 31.1.30	平成 30.6.1 ～ 31.3.31
事業実施場所	北海道庁１階ロビー	福島県須賀川市内
事　業　総　額	４０８，７３０円	４８６，０００円
助　成　金　額	２００，０００円	２００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（公社）茨城県水質保全協会	（一社）群馬県浄化槽協会
代　表　者	理事長　成田　浩明	会長　小倉　喜八郎
所　在　地	茨城県水戸市吉沢町 650-1	群馬県前橋市大友町 2-29-21
事業内容	①「水戸市環境フェア」 ②「霞ヶ浦環境科学センター夏まつり」 ③「涸沼環境フェスティバル」 ④「鉾田うまかっぺフェスタ」 ⑤「神栖フェスタ」 ⑥「鹿島まつり」 ⑦「行方ふれあいまつり」 開催に伴う浄化槽の啓蒙活動 １．浄化槽の模型展示 ２．浄化槽普及啓発パンフレットの配布 ３．浄化槽に関するパネル展示 ４．生活排水に関するクイズの実施 ５．水を汚さない為の工夫のチラシ配布 ６．パックテストの実施（水戸市環境フェアのみ予定）	「身近な河川水質調査」 １．目的 本調査は、地域住民の生活に身近な河川、水路等（以下、「身近な河川」という。）の水質を長期継続して測定することにより、浄化槽の設置推進が生活排水対策として効果的であり、公共用水域の水質の保全もしくは改善に寄与することを実証するために行う。 調査の結果は、当協会が参加する各種イベント等の場において発表する。 ２．内容 ①選定 ・浄化槽整備事業（「市町村設置型」・「個人設置型」）実施の市町村に関係する身近な河川を原則とし、当該市町村の整備計画等をあらかじめ把握し参考とする。 ・群馬県が環境白書に発表した環境基準未達成河川に流入する身近な河川を対象とする。 ・家庭雑排水等以外の汚染源（豚房（ぶたふさ）、工場等）がある身近な河川は対象としない。 ②調査対象（身近な河川）の数 ・２４以内（１２地域　各２川） ③調査の方法等 ・採水箇所は、１河川につき、汚染に関する生活区域を想定（以下、「一定区域」という。）し、上流部下流部１箇所ずつとし、定点とする。 ・定点における採水及びその分析は、年１回とし、当面平成２１年度より１０年間継続する。 ・水質分析項目は、生物化学的酸素要求量（以下、「ＢＯＤ」という。）とする。 ・採水は、「採水記録票」に必要事項を記入する。 ・当該一定区域内の浄化槽等（単独：合併：くみ取り）の設置状況の変化の把握に努める。 ・採水作業は、当該一定区域に関係する当協会の維持管理部会員もしくはその従業員が行う。 ④水質結果の評価 ・環境基準値を参考とする。 ・群馬県環境白書に発表されている河川の水質結果を参考とする。 ⑤その他 ・水質の分析は、計量証明事業場に委託して行う。 ・試料は直ちに保冷し分析機関に搬入する。
事業実施期間	①平成 30.6.3、②平成 30.8.25、③平成 30.9.30、④～⑦未定	平成 30.7.1 ～ 31.2.28
事業実施場所	①千波公園、②霞ヶ浦環境科学センター、③涸沼自然公園、 ④～⑦未定	群馬県内
事　業　総　額	６３０，５００円	３７４，８００円
助　成　金　額	２００，０００円	１８７，４００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（一社）兵庫県水質保全センター	（一社）和歌山県浄化そう協会
代　表　者	会長　九坪　登志彦	会長　木谷　恭三
所　在　地	兵庫県神戸市中央区港島南町 3-3-8	和歌山県和歌山市南大工町２６
事業内容	「環境教育・浄化槽普及啓発パンフレットの印刷」 中学生を対象に「生活排水」と「水の循環」をテーマとした河川での水質分析を行う環境教育を実施する。健全な水循環や公共用水域の水質保全に関して、各家庭から河川への流入水が及ぼす影響を調査検証することで、浄化槽の普及を図る環境教育を行う。 浄化槽の管理者等を対象とした浄化槽の維持管理を推進するパンフレットを作成し、浄化槽管理者・行政・関係団体等に配布するほか、イベント等で参加者に配布して浄化槽の普及啓発を図る。	「環境学習で使用する教材冊子等の制作（印刷）と配布」 1，目的 県下の小学校で行う学習教材の作成と配布。 子供のころから、生活排水処理の大切さ、浄化槽を通して使った水をきれいにして自然に返すことを学んでもらうことを目的とする。 2．配布対象 ①和歌山県全域の小学校 4 年生全生徒（263 校 8,011 人と教諭等） ②自治体 ③行政や各団体が行う環境イベント来場者 3，教材内容 「水は地球から預かった大切な宝物」～使った水はきれいにして自然へ返そうね！ ア．教材 ①水の大切さや水は繰り返し使われていること。 ②川や海の汚れの原因 ③川や海をきれいにするには ④浄化槽のしくみ ⑤私たちで守ろう、きれいな自然ときれいな水 イ．下敷き ①環境を守るために私たちができることをやさしく解説 4．印刷数 教材 15,000 部　下敷き 10,000 部 5．実施計画 ア，実施期間　平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 30 日 イ，実施方法 ①各小学校 4 年生の環境学習授業で教材として活用 ②自治体による環境活動で配布し活用 ③行政の環境出前授業で活用など
事業実施期間	（環境教育）平成 30 年夏　（パンフレット等）平成 30 年夏	平成 31.3
事業実施場所	（環境教育）洲本市（すもとし）及び加古川市（かこがわし）及び神戸市の中学校 それぞれ１校（予定）	和歌山県全小学校　４年生環境学習授業
事　業　総　額	４０５，２００円	９００，０００円
助　成　金　額	２００，０００円	２００，０００円

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（一社）鳥取県浄化槽協会
代　表　者	会長　大川　和彦
所　在　地	鳥取県鳥取市松並町 2-160　城北ビル 303
事業内容	中海（なかうみ）環境フェアの参加 １．目的 　中海の浄化を考える様々なグループの取り組みや成果を市民の 皆さんにご覧頂き、中海再生プロジェクトの実施する環境の保全を図る事業に参加し、浄化槽の普及啓発活動を行う。 ２．内容 　名称　中海環境フェア 　主催　ＮＰＯ法人中海再生プロジェクト 　共催　鳥取県・中海テレビ放送 　目的　中海の浄化に向け、より多くの市民に浄化槽について関心を持っていただき理解を深めていただく為に実物大の浄化槽とミニチュアの２種類及び解説パネルを展示し、浄化槽の働きについての説明と、パンフレットとトイレットペーパーを配布する。 　内容　各団体による中海の水質浄化を中心とした環境学習などの展示
事業実施期間	平成 30.8
事業実施場所	米子食品会館
事　業　総　額	１９５，７６３円
助　成　金　額	９７，８８２円

10

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（公社）徳島県環境技術センター	（公社）香川県浄化槽協会
代　表　者	会長　大坂　利弘	会長　山条　忠文
所　在　地	徳島県徳島市津田海岸町 2－33	香川県高松市香西本町１－１０６
事業内容	「環境学習の開催、水環境保全啓発イベントの開催」 1. 環境学習 学校教育において、環境問題の学習に熱心に取り組んでいる学校を対象に、県及び市町村と協力し出張講座を行う。 内容 ・竹の水鉄砲を手作りし、その水鉄砲で花に水やりを行う ・手作りのアメンボの模型を、水を張ったシャーレに浮かべ、洗剤を滴下し洗剤の与える影響を観察する。 ・干潟のモデルとしてアサリを使った水の浄化実験を行う。 ・身近な飲み物や、調味料をサンプルとし、COD パックテストを使って水の汚れ具合を調べる 2. 水環境保全啓発イベント 県内各地のイベントにおいて、水環境保全に関する啓発活動を行う。 内容 ・貝殻やビールの蓋などをリサイクルした UV ライト・レンジを使ったマリンジュエリー作り。 ・「紙すき」でリサイクル実験。 ・排水処理場の見学。 ・県内の海岸で生物調査を行う。	「環境学習の開催、イベントへの出展」 1. 目的 次世代を担う子供たち(小・中)の環境学習を平 25 年より実施し浄化槽の啓発啓蒙に努めている。 昨年、補助金を頂き、始めてのテキスト「よみがえる水」を作成することができました。子供たちや大人にもわかりやすく好評で、実施校も増加、県からの依頼も増え夏休み講座も実施することができました。浄化槽という言葉を初めて知った子供、微生物ががんばっている姿を、まじかに見てビックリの子供たちなど水環境を少しでも意識し行動に移す、きっかけになっていると実感している。平成 30 年度より、高松市出前講座の環境学習にも登録した。より県民に浄化槽について理解が深まるような講座を考えていきます。自分ちが使った水(台所や洗たく)が川や海を汚してしまうこと、それをきれいにする「浄化槽」の役割や自分たちにできることについて、楽しく学べるようにし、それが大人にも広がることを目的としています。 〈構成〉環境学習イベントに出展 依頼のあった小学校・中学校に出向き実施している。授業や総合学習に合わせて、先生との話合いで内容を構成している。一般的に座学と実験を組み合わせている。テキスト「よみがえる水」を使用し川や海の水質汚濁の原因が生活排水であることを知ってもらい、水を大切に少しでも汚さないために自分たちは何ができるか考えてもらう。より理解を深めるために、実験し体験してもらう。 （実験内容） COD・透視度・色・におい・pH・微生物の観察・手作りアメンボ・浄化槽ミニモデル県依頼のイベントに出展し水環境の保全・浄化槽の啓発啓蒙に役立てる。
事業実施期間	平成 30.5～ 31.3	平成 30.4～ 31.3
事業実施場所	徳島県内	香川県内の小・中学校およびコミュニテイセンター及びイベント会場
事　業　総　額	２２１，２５９円	６９２，０００円
助　成　金　額	１１０，０００円	２００，０００円

11

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（公社）愛媛県浄化槽協会
代　表　者	会長　寺井　政博
所　在　地	愛媛県松山市辻町 2－31
事業内容	環境学習の座学講座で実施する小冊子の印刷・製本並びに体験型学習の教材としてパックテスト（COD）、手作り顕微鏡キットを使用する １．目的 次世代を担う子どもたち（小・中学生等）を対象に、一般家庭で使われた水がどのように川に流され、自然に返るか等、水環境に関する知識や水の大切さを教材等を使い、実際に体験し理解してもらうことを目的として、平成25年度より環境学習を実施している。各授業は座学講座に体験型学習（実験・観察等）を組み合わせて実施しており、平成30年度の環境学習（座学講座）にて使用する小冊子を印刷・製本する。なお、授業で使用した小冊子は児童に配布する。 体験型学習では生活排水がそのまま川に流れると、どれくらい川が汚れるかパックテスト（COD）を使い水質を測定する。 また、川の水や浄化槽をきれいにする微生物を、手作り顕微鏡キットを作成し、実際に観察する。 ２．小冊子の内容 くらしと水の関わり、川の今昔、水の大循環等の説明を行い、結果として水を大切にするために私たちが出来ることは何かを考えていく。 ①くらしの中での水の使われ方 学校、家庭等生活の中で、水はどの様に使われているのか、また、私たちの暮らしと水との関わりを知る。 ②昔と今の川について 使った水が汚れていること、またその水が川や海へと流れていくことを知る。 川の今昔から、自浄作用の仕組みを知り、現在の川の汚濁の主原因である生活排水について考える。 ③みんなが出来ること 生活排水をどのようにして自然に返してあげるのがよいかを考える。また、その実現のために私たちに何が出来るのかを考える。 ④水の大循環について 水の大循環から、学校や家庭等生活の中で使う水が、どのように姿や形を変えて最終的に何処へ行きつくのかを知る。 なぜ私たちは使った水をきれいにしなければならないのかを知る。 ３．印刷・製本数 過去最多の参加実績がある、平成26年度を参考とする。 ※平成26年度実績：28校と2イベント　対象児童：865名 →教職員への配布数も考慮して1,000冊とする。 ４．水質測定（パックテスト）の内容 生活排水がそのまま川に流れると、どれくらい川が汚れるか。 「洗濯洗剤」、「手洗い後の水」、「ジュース」、「うどんの汁」、「水道水」の汚れを、パックテスト（COD）を使用し測定する。 パックテスト数量 平成26年度に実施した環境学習が、体験型学習としてパックテストを体験した児童数が525名と最も多いため参考とする。 ※パックテストは一人一個使用 →講師用及び予備を考慮し、600名分とする。 600個　÷　50個／箱　＝　12箱 ５．手作り顕微鏡キットの内容 市販の手作り顕微鏡キットを、自分の手で組み立て、協会が用意した微生物を手作り顕微鏡にて観察する。 小冊子に載せている微生物図鑑と見比べて微生物の種類や動き等を観察してもらい、微生物を身近に感じてもらう。 ６．手作り顕微鏡キットの数量 平成30年度に手作り顕微鏡キットを用いた浄化槽普及啓発イベント ①平成30年7月21日（土）　サマーエコキッズ　　定員30名 ②平成30年2月予定　　内子町環境こども会議　定員40名 →合計70名の予定だが、予備等を考慮し、80名分とする。
事業実施期間	平成 30.4.1～31.3.31
事業実施場所	愛媛県内の各小・中学校
事　業　総　額	２６３，３８４円
助　成　金　額	１３１，６９２円

12

（一社）全国浄化槽団体連合会　「平成 30 年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団　体　名	（一財）福岡県浄化槽協会	（公財）鹿児島県環境保全協会
代　表　者	理事長　三浦　正吏	理事長　柴立　鉄彦
所　在　地	福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬９６６－２	鹿児島県鹿児島市宇宿 2-9-9
事業内容	「平成 30 年度浄化槽シンポジウム福岡の開催」 事業内容 　県民の環境意識の向上、地方自治体の財政の逼迫、迎えている少子高齢化等の社会状況の変化の中、それぞれの市町村に相応しい生活排水処理計画を構築するための一助とすべく、議会、行政及び浄化槽関係者等を対象にシンポジウムを開催するもの。	「ふるさと祭り等への出展」 事業内容 　鹿児島県内の市町村（特に生活排水処理率の低い地域）で開催されるふるさと祭り等に浄化槽コーナーを設けて出展し、地域住民に対して浄化槽の普及啓発活動を行う。 《主な内容》 ・生活排水対策に関するパネル展示 ・浄化槽設置推進に関するリーフレットの配布（別紙６参照） ・浄化槽に関するクイズの実施 ・浄化槽に関する相談対応
事業実施期間	平成 30.11.2	平成 30.7.29～ 30.11.25
事業実施場所	ANA クラウンプラザホテル福岡	鹿児島県内４市
事　業　総　額	２，１００，７００円	４４５，８４６円
助　成　金　額	２００，０００円	２００，０００円